

## 9月の学級づくり【小学校版】

9月は、運動会や音楽会等に向けて、学習の成果を発表する準備を学級で進めることが多くなります。その準備に子どもたちが主体的に取り組めるようにするために、目標、役割、分担、計画が大切です。また、夏休み明けに児童の欠席が増えることがあります。未然防止をしていく必要があります。



## 運動会で学級・学年の絆をより強く！

心を一つにして取り組むことができるように学級や学年で目標を決めて、運動会に向かって活動を進めていきましょう。そのとき、目標に向けて、児童が自分たちで具体的な方法を考え、学級や学年で共有していくことが大切です。

組体操などで技を組み立てていくときには、必ずペアやグループでの協力が欠かせません。練習の前後に、技を成功させるための簡単な打合せの時間を取ります。「私は早めに動くね。」「僕は、

君と肩を組んでしっかり支えたほうがいいね。」などと話し合うことで、自分自身の動きがはっきりし、どう協力したらいいかが見えてきます。

運動会が終わり、ビデオを見ながら感想を発表し合って振り返ったときに、「あのとき、さんが頑張ってくれたからできたね。」などの言葉が出てくると、学級・学年の絆が深まります。

## 共につくり上げていく過程を大切に！

～ 音楽会と学級づくり ～

音楽会は、運動会と並ぶ一大行事です。子どもたちが一丸となって、精一杯、音楽表現する姿は、大きな感動を呼びます。

## 過程があってこそその感動

音楽会の感動は、その日を迎えるまでの学級のドラマから生まれます。当日の出来栄だけではありません。共に歩んだ軌跡の発表です。

## 歌唱（合唱）編

合唱では、「みんなの気持ちを合わせること」を大切にしましょう。一人一人の歌声が一つになって初めて「年組の歌声」になります。

## 合奏編

合奏では、「一人一人の役割を果たすこと」を大切にしましょう。リコーダーの美しいメロディ、シンバルの迫力ある一発…。演奏されるすべて音が、大切な存在です。

## 夏休み明け、心配な児童はいませんか？

楽しい夏休みが終わり、再会に喜ぶ児童の中に、学校生活への不安等からか元気のない姿が児童が見られたら、どうしますか？

児童に寄り添い、話を聴く。「元気がないように見えるんだけど、何か気になることがあるのかな・・・」アイ（私）メッセージで相手の気持ちに寄り添う。

連絡帳などをとおして保護者と連絡を取る。「一人であることが多いのですが、夏休み中に何か気になることはありませんでしたか」学校の様子を伝え、夏休み中の様子や保護者の思いを聴いて共通理解を図る。

職員室で情報交換する。「君、先生から見たらどうですか」職員室で他の教師と情報交換し、共通理解して関わる。

## 支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

## 「指示のとおり動くことが難しい児童」

聞かなければならない声に集中できないことが多いですか？

「さん。今から大切な連絡をしますよ」など、目を見て、声をかけてから話してみてもは。

指示や話の内容がわからないことがありますか？

「こそあど」言葉など、指示代名詞を使わずに、具体的に話してみてもは。

絵や写真を使ったカードを作って示してみてもは。

複雑な指示になるとわからなくなる様子が見られますか？

1回の指示で伝える内容を一つに絞ってみてもは。